

- 第1期高等学校再編
高校生徒数のピークであった平成2年から平成20年代の少子化に対応し、平成30年ごろまでを目途とした高校再編。
- 平成40年までの中学校卒業予定者数の推移を見ても下降傾向は変わらず、平成41年の中学校卒業予定者数は、平成27年の4分の3程度であり、平成30年以降も継続して高校再編を考えていく必要がある。
(平成3～10年代の急減期の高校生の世代が、高校生の親になってくる時代)
- 第2期高等学校再編計画
平成30年代の少子化に対応し、平成40年ごろまでを目途とした高校再編計画。平成26～27年度は、長野県産業教育審議会、長野県高等学校将来像検討委員会を設置し、再編計画の基本理念や方針について検討を進めてきた。

平成28年3月 「長野県高等学校将来像検討委員会 審議のまとめ」(提言)

【平成28年度】

平成28年春 「第2期高等学校再編計画の基本理念・方針(案)」の公表

- ・長野県高等学校将来像検討委員会の報告を受け、教育委員会として示す県全体の高校再編計画の基本理念・方針に関する考え方を公表

- パブリックコメント実施
- 関係団体との懇談会(PTA、経営者協会、高等教育コンソーシアム信州等)

平成28年夏 「第2期高等学校再編計画の基本理念・方針」の策定

- 「地域別懇談会」の開催
- 「産業別懇談会」の開催 産業界の分野別代表者などからの意見聴取

平成28年度末 「第2期高等学校再編計画の骨子(案)」の公表

- ・地域別に示す高校再編の基本方針・方向性を公表

【平成29年度以降】

- パブリックコメントの実施
- 地域別懇談会の開催

「第2期高等学校再編計画の骨子」の策定

「第2期高等学校再編計画(案)」の公表

「第2期高等学校再編計画」の策定

実施計画の策定

平成30年：第1期再編の完了

【平成40年頃】 第2期再編計画の完了